

EDAC 機能の留意事項について

[概要]

Red Hat Enterprise Linux の EDAC 機能が有効になっていると、ハードウェアのエラーがシステムイベントログ (SEL) に記録されない場合があります。
このため、そのエラーに関する ServerView による監視やハードウェア保守ができなくなることがあります。

[詳細情報]

PRIMERGY において、Red Hat Enterprise Linux v. 4、5 および、6 の EDAC (Error Detection and Correction) 機能が有効になっていると、ハードウェアのエラーがシステムイベントログ (SEL) に記録されない場合があります。
このため、そのエラーに関する ServerView による監視やハードウェア保守ができなくなることがあります。
従って、PRIMERGY において、Red Hat Enterprise Linux v. 4、5 および、6 をご使用される場合は、EDAC 機能の無効化を推奨いたします。

Red Hat Enterprise Linux 7 とサポート対象 PRIMERGY との組み合わせでは上記問題は発生しないため、EDAC 機能を無効化する必要はありません。

<対象ディストリビューション>

- Red Hat Enterprise Linux AS (v. 4 for x86) Update 3 以降
- Red Hat Enterprise Linux AS (v. 4 for EM64T) Update 3 以降
- Red Hat Enterprise Linux ES (v. 4 for x86) Update 3 以降
- Red Hat Enterprise Linux ES (v. 4 for EM64T) Update 3 以降
- Red Hat Enterprise Linux 5.0 (for x86) 以降
- Red Hat Enterprise Linux 5.0 (for Intel64) 以降
- Red Hat Enterprise Linux 6.0 (for x86) 以降
- Red Hat Enterprise Linux 6.0 (for Intel64) 以降

※ 上記ディストリビューションをサポートする PRIMERGY 機種名については、
弊社 HP (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/linux/>) 内の Linux サポート版数一覧表を参照下さい。

[対処方法]

EDAC 機能を無効化するには、各ディストリビューションに対応した以下のファイルを編集して、システムを再起動します。

- ・ Red Hat Enterprise Linux v. 4、Red Hat Enterprise Linux 5 の場合
対象ファイル : /etc/modprobe.conf
- ・ Red Hat Enterprise Linux 6 の場合
対象ファイル : /etc/modprobe.d/disable_edac.conf

以下の内容をファイルに追記する。対象ファイルが無い場合はファイルを作成して下さい。

```
install *_edac /bin/true  
install edac_* /bin/true
```

システムを再起動後、“`lsmod | grep edac`”の出力結果に何も表示されないことにより、EDAC 機能が無効化されていることを確認します。

[輸出管理規制について]

本ドキュメントを輸出または第三者へ提供する場合は、お客様が居住する国および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認のうえ、必要な手続きをおとりください。

[更新履歴]

2009年4月28日	新規作成
2010年11月16日	Red Hat Enterprise Linux 6の記事を追加
2014年7月29日	Red Hat Enterprise Linux 7の記事を追加
2015年2月10日	Red Hat Enterprise Linux 7の記事を変更